

租税教室

主権者として税の意義と社会のあり方を考えよう



近畿税理士会

授業をすぐに開始できるよう、あらかじめパワーポイントの表紙をスクリーンに映しておきましょう。担任の先生からの紹介があるまで、落ち着いた態度でお願いします。授業をスムーズに進めるためにも、ご自身のご挨拶をお考え下さい。税理士のための『租税教育実践マニュアル』の冒頭挨拶に関する記述もご参考にして下さい。

※このレジュメはボリュームが大きいため、通常の50分授業では時間内に収まらない可能性が高いです。

動画の視聴を外したり、グループディスカッションの時間を少し短くするなどの工夫が必要となることもあります。

何分にはどこまで進んでいるべきか、時間がなくなってしまった場合、どこを飛ばすのかを事前に考えるなど、時間配分に気を付けてください。

余裕をもって一番伝えたいことを、しっかり伝えることができるようにしましょう。

また、このテキストはダウンロードするのに大変時間がかかります。前日までにご自身のパソコン又はUSBにダウンロードしてください。

図書館を建てよう！

(単位：万円)

	いくらずつ出し合う？
Aさん	
Bさん	
Cさん	
Dさん	
Eさん	
合計	1,000

《 1 》

【コメント例】

この町には図書館がありません。
 今度、町に図書館を建てることになりました。
 そのためには1,000万円のお金が必要になります。
 さあ、そのためには1人いくらずつ出し合うとよいでしょうか。
 皆さん考えてみて下さい。
 (生徒から声上がるのを待つか当てる。200万円の回答あり。)

そうですね、200万円ずつですね。
 必要な資金を5人で均等に負担しましたね。

この200万円が税金です。

国や地方公共団体は、図書館を建てるというような
 公共サービスを提供します。
 他には水道や道路の整備、年金や医療、警察や消防、
 福祉や教育も公共サービスです。
 そのためには莫大や資金が必要となります。
 その資金として「税金」が必要になるのです。

図書館を建てよう！				
(単位：万円)				
		年収	家族などの生活や収入環境	いくら集める？
 Aさん	60歳	2,000	会社社長、社員200人の会社	
 Bさん	25歳	1,000	世界旅行が人気のユーチューバー	
 Cさん	45歳	500	夢のマイホームを建て、教育にお金のかかる小・中・高校の子ども三人抱える会社員	
 Dさん	20歳	100	フリーター	
 Eさん	85歳	10	ひとり暮らしの高齢者	
合計				1,000

《 2 》

【コメント例】

続いては、班ごとに考えてもらって、班としての答えを出してもらいます。
 同じく図書館を建てるお話です。A-Eさんの収入などが分かりました。
 Aさんは大きな会社の社長さんで年間の収入は2,000万円あります。
 Bさんは今人気のユーチューバーで収入は1,000万円です。
 Cさんは収入は500万円ありますが、何かとお金のかかるお父さん世代の会社員です。
 Dさんは20歳のフリーターで収入は100万円です。
 Eさんはひとり暮らしのおばあさんで収入は年金収入だけで10万円です。
 こういう5人の方からいくらかずつお金を集めて1,000万円の図書館を建てる場合、それぞれからいくらかずつ集めるか、
 班に分かれて話し合ってください。
 5分でお願いします。
 ありがとうございます。
 どの意見も班で話し合っまとめた意見、つまり民主主義で話し合った意見なので、どの意見も尊重します。
 どの班の答えが正しいということはありません。

税理士のための『租税教室実践マニュアル』の「ディスカッションについて」も参照ください。
 あらかじめ司会者、書記、発表者を決めておいてもらおうと思います。
 各班の話し合った結果を黒板・ホワイトボードに板書します。
 エクセルをスクリーン等に映し出せるならばそれを使っていた方がいいと思います。

図書館を建てよう！

(単位：万円)

	LIBRARY	年収	集める金額						合意！ 最終の決め方
			1班	2班	3班	4班	5班	6班	
Aさん	60歳	2,000							
Bさん	25歳	1,000							
Cさん	45歳	500							
Dさん	20歳	100							
Eさん	85歳	10							
合計 (1,000になるように)									

《 3 》

【コメント例】

ただ、日本のルールとしてAさんからいくら、Bさんからいくら集めるかを決める場合、日本国中バラバラのルールではいけないので

統一する必要があります。

班の代表の方、今から前に集まってもらって話し合ってもらえますか。

話し合ってからクラスの結論を出してもらいたいと思います。

代表の方は班の意見を代表しているので、自分の班の意見を主張し、違う班の主張も受け入れたうえで代表者の中で決めてください。

班ごとの負担案は黒板に書きだすか、このパワーポイントに直接入力してください。

話し合いが進まない場合、先導してあげたりヒントを与えるといいと思います。

例えば、

決めやすいところから決めていき、最後の人は残った金額にしましょう。

→4人決めればよくなります。

- ・金額の少ないEさんから決めていきましょう。

→選択肢が少ないのでまとめやすいです。

- ・声が上がらない場合、各班の数値の平均額を参考に出してみましょう。

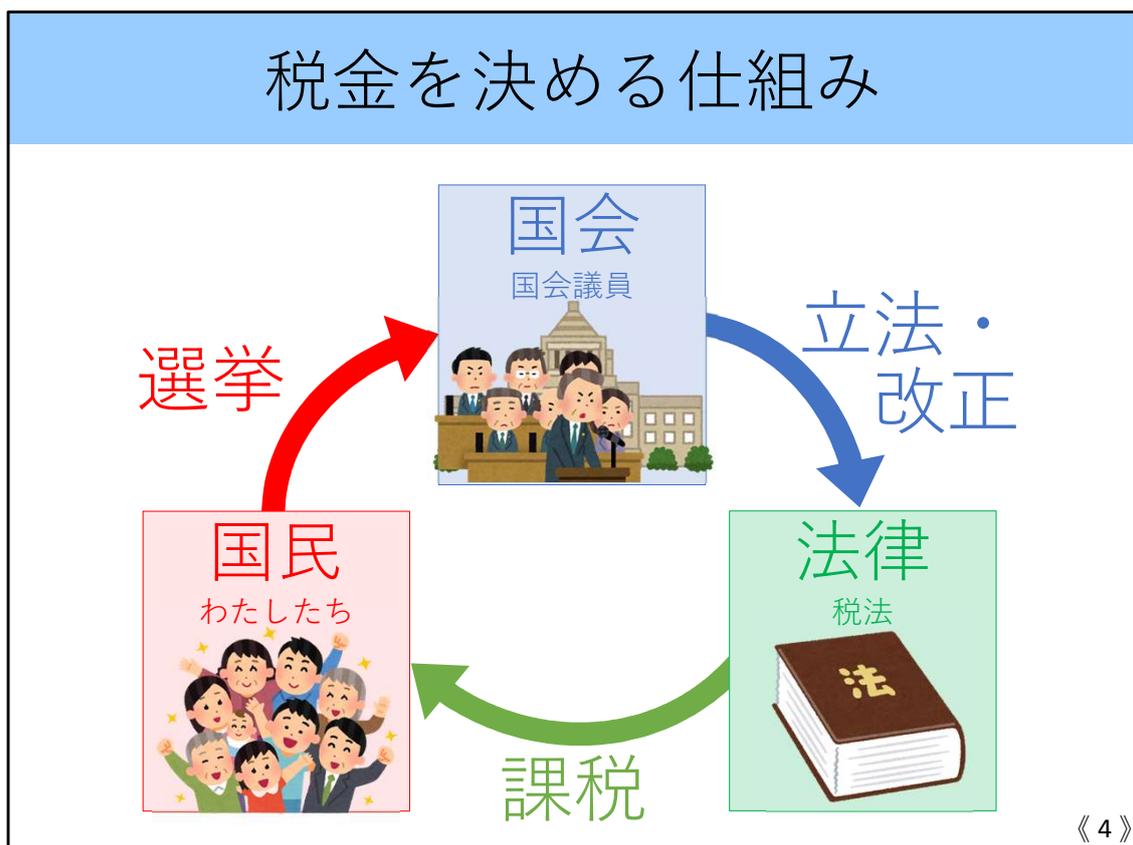
→意見が出やすくなります。

- ・候補に挙げた数値を2つ選んで多数決をとってみましょう。

→多数決で選ばれた数値で決まります。

自分の意見が間接的に反映される様、まさに議会を体験してもらいます。

(合意したら)お礼を言って席に戻ってもらいます。



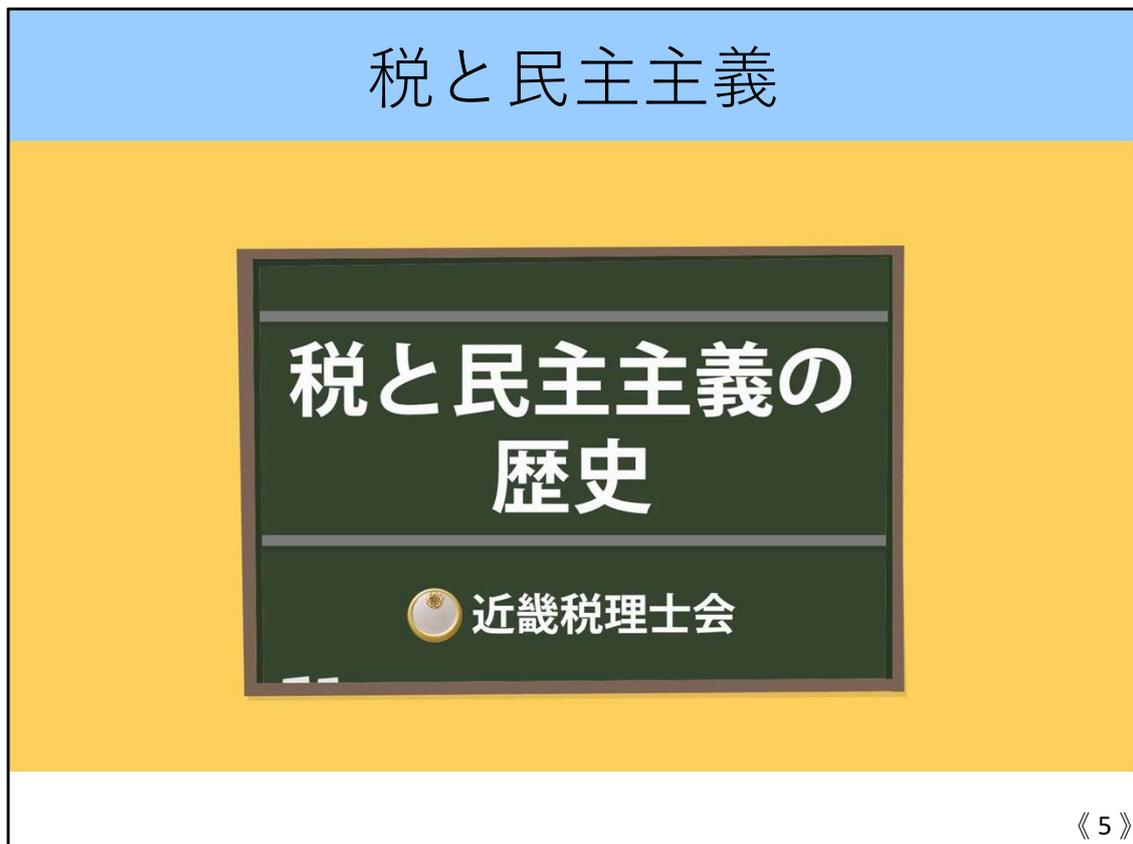
【コメント例】

各班の代表の方に集ってもらい、A-Eさんからいくらずつ集めるか話し合いをもらいクラスとしての意見をまとめてもらいました。

今体験してもらったことは、国が税を決める仕組みと同じです。この図に当てはめると「国民」が皆さんそれぞれ一人ずつの意見です。各班で話し合いをもらいまとめた班の意見を持ち寄って、各班の代表者が「国会議員」に選出され「国会」で議論し意見をまとめたうえで、「法律」が決まりました。

これでA-Eさんからそれぞれいくらずつ集めるのか、法律として決定されました。A-Eさんは自分たちの代表が決めたことなので守らないといけません。これを租税法律主義といいます。これが今の日本の民主主義による税の決め方です。

ところで昔、例えば江戸時代の日本はどのように決めていたのでしょうか。国民から選ばれた議員が話し合っ決めてのではなく、お殿様が年貢という形で決めていました。つまり、国民が主権者ではなかったのです。ではどのように民主主義が生まれてきたのか動画で確認してみましょう。



この動画は約3分ありますので、これまでの内容が十分に理解できている場合や時間配分の関係で省略しても良いと思います。

なお、このテキストで使用されている動画は全てYouTubeで公開されています。省略する場合は、生徒たちにその旨を伝えていただけると良いかもしれません。

【公式】近畿税理士会チャンネル

URL: <https://www.youtube.com/@user-sf4yx7rb7y>

図書館を建てよう！

(単位：万円)

	年収	家族などの生活や収入環境	貯金や借金など	いくら集める？
Aさん	60歳 2,000	会社社長、社員200人の会社	貯金1,000万円、借金1億円あり	
Bさん	25歳 1,000	世界旅行が人気のユーチューバー	世界中に生活拠点あり。税金の安い国を常に探している。	
Cさん	45歳 500	夢のマイホームを建て、教育にお金のかかる小・中・高校の子ども三人抱える会社員	年間給与500万年入ってくるが、教育子育て費用や住宅ローンも年間500万円出ていく。	
Dさん	20歳 100	フリーター	貯金なし	
Eさん	85歳 10	ひとり暮らしの高齢者	貯金1億円あり	
			 合計	1,000

《 6 》

【コメント例】

先ほどはA-Eさんの収入状況がわかりましたが、今度は財産状況もわかってきました。Aさんは年収は2,000万円、貯金も1,000万ありますが、事業を大きくするなかで借金も抱えていて1億円もあります。

ですので収入は多いですが、手元にはあまりお金がありません。

Bさんは世界を股にかけて活躍しており、日本にいななければならない理由がありません。日本での税金が高くなると安い国を求めて日本を出ていく可能性があります。

Cさんは年間500万円収入ありますが、教育費や住宅ローンが年間500万円かかり貯金ができない生活です。

Dさんは貯金を全くしません。100万円収入があったら100万円全部使ってしまいます。

Eさんは10万円しか収入がありませんが、おじいさんから相続があり貯金は1億円あります。

皆さんどう考えますか。先ほど決めた法律を変えますか、それともこのままがいいですか。

このように実際にはいろんな条件があるんです。

日本の税制をできるだけ公平にしようとすると、例えば収入といった1つの尺度だけでは決められないのです。

今の日本の税金は全部で約50種類もあります。

なぜでしょう。次の動画を見てみましょう。



この動画も約4分ありますので、授業の進捗状況等に応じて省略する事も検討してください。

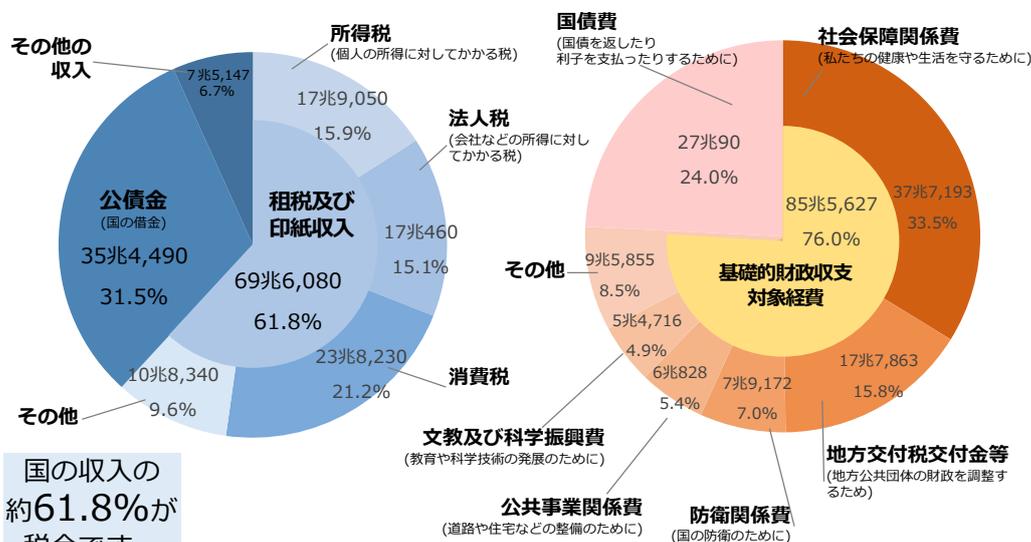
省略する場合は、平等と公平の違いを簡単に説明してあげてください。

歳入(国の1年間の収入)と歳出(1年間の支出) (令和6年度当初予算)

(単位: 億円)

歳入総額 112兆5,717億円

歳出総額 112兆5,717億円



国の収入の約61.8%が税金です。

《 8 》

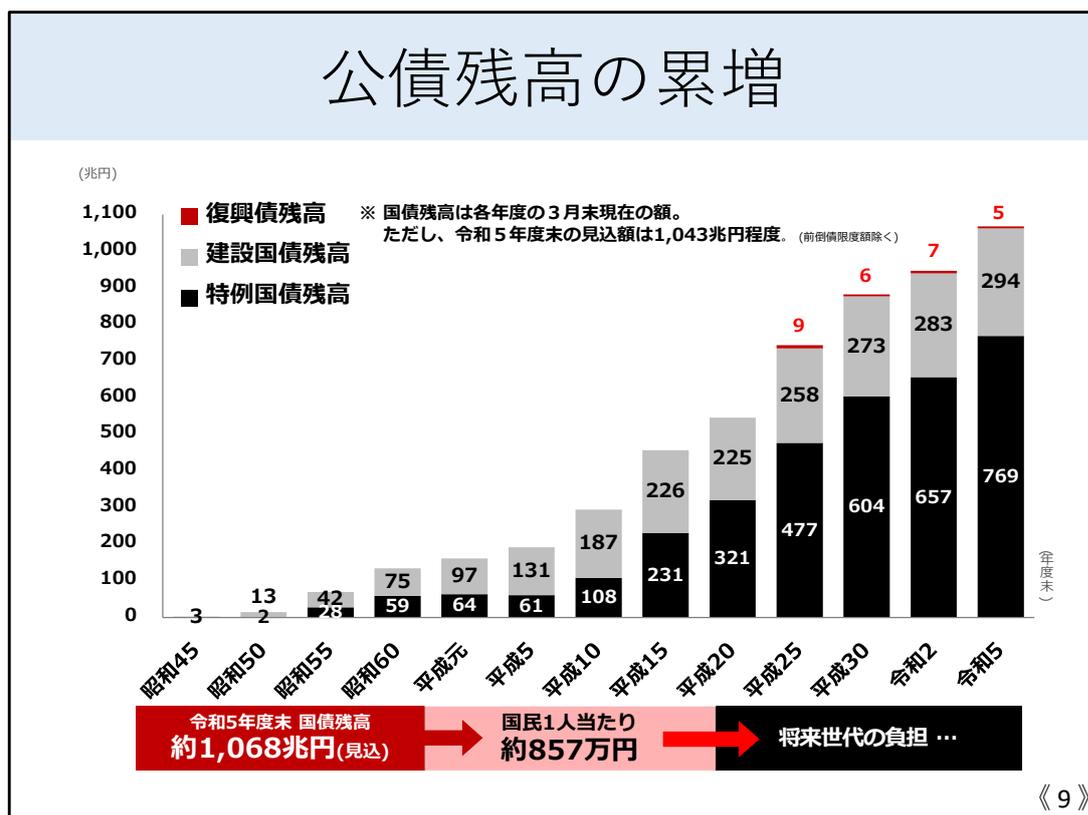
歳入の3分の1以上が国債により賄われていることを意識してもらいましょう。

【コメント例】

先ほど、お金が足りない時どうするのかを考えてもらいましたが、これが日本の財政の現状です。

国の収入のうち、税金は約61.8%です。

足りない部分のうち大部分、約35兆円は、公債金、すなわち国の借金で補っているのです。



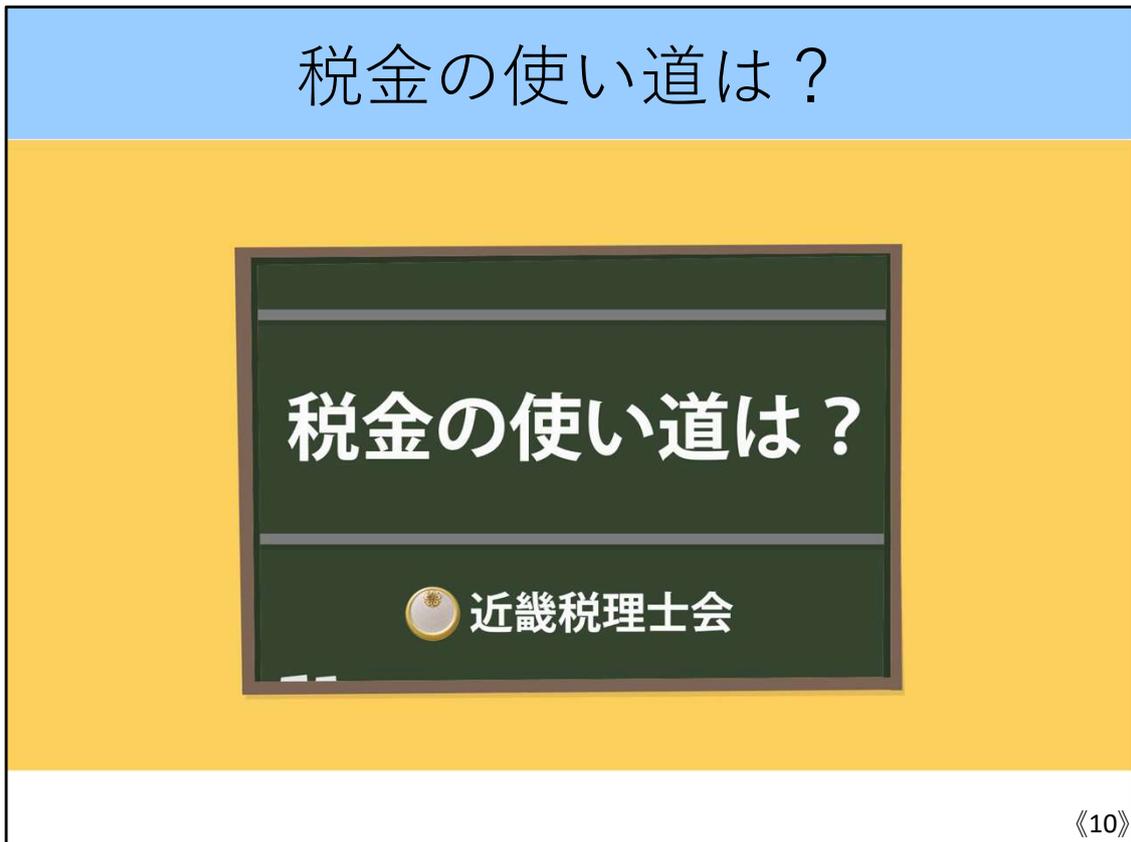
日本の国債残高の推移を簡単に説明しましょう。
 その際、生徒たちへマイナスイメージとならないよう注意しましょう。

【コメント例】

少子高齢化等が進む中、使う予算は膨らむ一方です。

医療・年金・福祉の社会保障の安心を求めるほど、国は借金をして財政を成り立たせています。

どうやって支出を減らすか、収入を増やすかを真剣に考えていかななくてはなりません。



この動画も授業の進捗状況によっては省略できる箇所かと思います。

「模擬選挙」各党（候補者）の公約

候補者	主 な 公 約		
	目指す社会	具体的公約	財源の確保
A党 〇〇氏	経済成長を図り、豊かな生活を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの整備、デジタル化とエネルギー事業、人材育成への投資 ・法人実効税率を引き下げ、各企業には投資と賃上げを促進 	無駄遣いを徹底的に減らす 当面は国債発行により確保
B党 △△氏	安心して子育てができる社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳までの医療費と幼児教育から大学までの教育無償化 ・待機児童ゼロ 	消費税率を段階的に20%まで引き上げることにより確保
C党 □□氏	新しい未来を創る社会	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の世代へ負担を残さないため国債の残高を減らす ・新しいテーマパークを作り海外からたくさんの観光客に来てもらう 	医療費を全額自己負担とする

《11》

模擬選挙の進行にあたっての準備として、事前打ち合わせで立候補者役3名を決めておいてください。

できれば学校の先生に協力をお願いしてください。

補助としてもう一人税理士に参加してもらうのも良いでしょう。

【コメント例】

それでは、模擬選挙を始めます。

日本をよくするためにはどの党の考えがいいのかご自身の意見に近いのはどの党なのか考えてみてください。

これからA党、B党、C党それぞれの候補者に公約を発表してもらいますので、聞いてください。

それではA党の〇〇さん、公約を発表してください。…次にB党の〇〇さんお願いします。…最後にC党の〇〇さんお願いします。

…はい、各党の候補者の方々ありがとうございました。

今から、お手許のワークシートを作成してもらいます。各党の公約を評価し、長所短所を記入して下さい。

そして自分ならどの党に投票するかをその理由とともに記入してください。

〇分間をお願いします。スタートしてください。

(〇分間は残り時間から逆算して決めてください。)

続いて班で話し合いをしてください。

他の人がどのように考えているか意見を聞いて、もう一度、自分ならどの党に投票する

かを考えて、思ったことを記入して下さい。
この話し合いの後、班の代表者の方はどんな意見があったかを発表してもらいます。
〇分間でお願いします。スタートしてください。

(〇分間は残り時間から逆算して決めてください。)

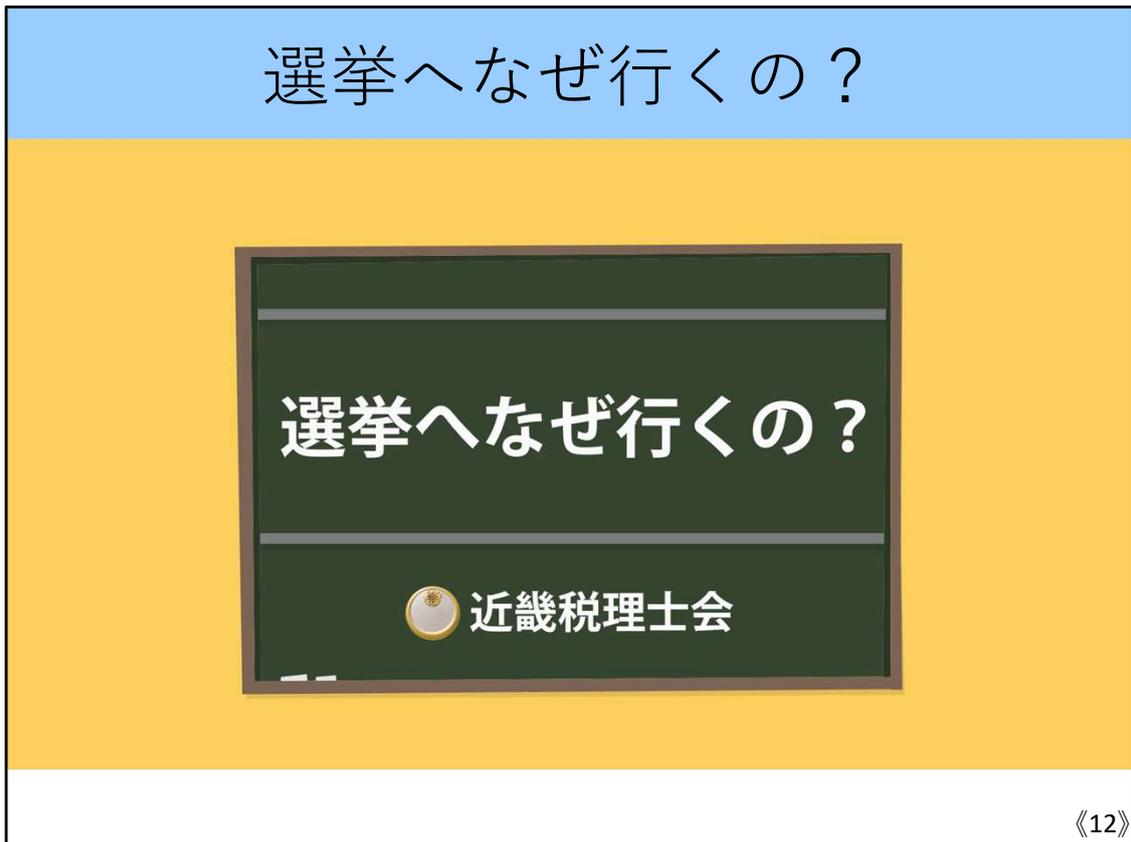
はい、時間です。それでは〇〇班から順番にどんな意見、考えがあったかを発表して
いって下さい。各班1分程度でお願いします。

(時間が足りない場合は、代表して何班かに発表してもらい、発表者の数を減らしまし
ょう。)

ありがとうございました。それではいよいよ投票です。
今から挙手による投票を行います。A党に投票する人は挙手をお願いします。次にB党
に投票する人は挙手をお願いします。
最後にC党に投票する人は挙手をお願いします。
投票の結果、当選者は〇党の〇〇さんに決まりました。拍手をお願いします。それでは、
〇〇さん抱負をお願いします。

(挙手による投票の前にそれぞれの投票数を板書できるよう準備しておいてください。
抱負は時間がなければ無理にする必要はないかと思います。)

ありがとうございます、最後にもうすぐ18歳になって選挙権を得られる皆様に動画を見て
もらいます。



この動画も授業の進捗状況に応じて省略する事も検討してください。

おわりに

私たちが政治に参加し、選挙を通してその意思を政治に反映させることができる民主主義国家、その国を支える税金を負担することが国民の義務の一つです。

豊かで安心して暮らせる明るい未来のために、政治・経済・社会の動きに関心を持ち、公平な税負担と使われ方について私たち一人一人が考えて行動することが大切です。



《13》

授業のまとめとして、税金の意義や役割、公平な税制の在り方や租税法律主義の確認を再度行ってください。

【コメント例】

「税金が国を支えるということを理解してもらえたと思います。

では、なぜ私たちは税金を払わなければならないのでしょうか。

経済的に豊か人は、なぜ自分が努力して得たものの中から、人よりも高い税金を

お納めしなければならないのか、また経済的に恵まれていない人は、大した収入がある

わけでもないのに、なぜこんなに税金を納めなければならないのだろうか・・・

税金の負担は、私たちが選挙で選んだ代表が決めたルールに従うことを租税法律主義

といます。また税負担は各人の担税力に応じて配分されるべきことを租税公平主義または租税平等主義といいます。両者は密接に関連します。

税金は納めて終わりではなく、使われ方を、しっかりと監視しなければなりません。

この事をよく理解して一人一人が自分で考えて行動することが大切です。」

最後にあなたの考えは、如何でしょうか。